

このたび、(一社)日本インディアカ協会の推薦をいただき「レクリエーション運動普及振興功労者表彰」を受賞することができました。心より御礼申し上げます。

県インディアカ協会は、令和2年度に創立40周年を迎えます。協会組織として成熟期に入り、県内の各市や町では、自ら主催して地域に根ざした個性ある大会を数多く開催し、交流の輪が広がっています。また、埼玉県は国内でもインディアカが盛んなところでもあり、競技レベルも高く、全国大会では毎年輝かしい成績を残しています。

インディアカは生まれ故郷のドイツや、ベルギー、スイス、ルクセンベルク、エストニア、ポーランドなどヨーロッパを中心に幅広い年齢層に親しまれています。国際大会も開催されています。「インディアカ」は汗をかく全身運動であり、大きな運動効果があります。今後も、県民の皆さまにインディアカの楽しさ・素晴らしさを広くアピールし、愛好者の拡大を図っていききたいと思います。



(公財) 埼玉県インディアカ協会 金澤 智幸

## 第73回全国レクリエーション大会 in 宮城

### 「レクリエーション運動普及振興功労者表彰」受賞に輝いた団体

「第73回全国レクリエーション大会 in 宮城」が仙台市で開催され、「令和元年度レクリエーション運動普及振興功労者表彰」を受賞いたしました。北本市レクリエーション協会は、1977年4月設立以来、現在加盟8団体で構成しており、レクリエーションを通じて市民の健康増進と親睦、明るい街づくり・地域づくりを目指して活動しています。当協会の主な事業として「感動桜国きたもとウオーク大会」「緑のフェスティバル(オリエンテーリング)」「北本市民レクリエーション大会」を開催し、各団体では定例活動の他に、市民を対象とした「市長杯争奪北本市民ミニテニス大会」「初心者フォークダンス教室」「北本市スポーツウェルネス吹矢大会」、そして、県レクリエーション協会主催事業の支援、市内ゴミゼロ運動などの市役所関連部門事業の支援を、各スポーツ団体と連携しながら推進しています。

今後、レクリエーション活動をとおして地域社会に貢献できるよう、本受賞を糧として更に地道に継続・推進して行きたいと思えます。

北本市レクリエーション協会



## 令和元年度 役員・事務担当者研修会

令和元年7月18日(木)

### ラグビーワールドカップ2019埼玉熊谷で開催について

講師：埼玉県県民生活部ラグビーワールドカップ2019大会課 広報・普及担当 主査 角田榮司氏

スポーツの世界三大大会は、オリンピック・サッカー・ラグビーで、いずれも4年ごとに行われる。ラグビーは日本ではあまりメジャーではないが、世界では野球よりずっと多くの人々に関心を持たれている。まずはルール。トライとゴール、ボールは持って走ってもよいが前に落とすと反則になる、投げてよいのは後ろだけ等。1チーム15人で、フォワードとバックスとそれぞれに役割があり、試合時間は前半40分、後半40分。激しくぶつかり合って戦うが、試合が終われば「ノーサイド」。お互いにたたえ合う紳士のスポーツなのである。

1987年に、ニュージーランド・オーストラリアで第1回の大会が開催され、第9回大会が日本で開催される。全48試合が全国12都市で開催されるが、そのうち3試合が改修なった「熊谷ラグビー場」で行われる。

我々にとっては「4年に1度じゃない、一生に1度だ」

と、多くの映像を使い、プレゼントありのクイズと、ビールの消費量の凄さとか、握手の手が冷たくなるのでジョッキは左手で持つとか、周辺情報も盛り込んだユーモアに富んだ講師の熱い話に、ラグビーが身近になり、最後はぜひ応援・観戦に・・・という気持ちになった研修だった（残念ながらチケットは既にソールドアウトとの事だった）。



## オリンピック・パラリンピック ついに至来

なんと8年前に決定してから、まだまだと思っていたのについて目の前に迫って参りました。

レクリエーション協会として何が出来るか？から始まり、加盟団体には踊る団体もある、東京五輪音頭2020でムードを盛り上げるのも一つの案と考え、インターネット上から資料を作成して実践に乗り出しました。しかし、民踊団体からも、「難しいね！」の声も出、何とかしようと試行錯誤して講習に結びつけました。「思っていたより踊って見ると面白いよ」と推めました。人数で盛り上げたいがそれには子どもを巻き込む事が一番と考えていたところ、埼玉県小学校体育連盟で取り上げていただく事ができました。



まず先生方に講習し、各々の先生方が子ども達に、併せて親も一緒になって踊っていただき、一般の方々も一緒になって皆で盛り上げようではありませんか？埼玉県民踊レクリエーション連盟の協力のもと、県内各地で、「東京五輪音頭2020」を踊り、そして講習会を開催しています。あなたの協会で！あなたの町で！あなたの地域で、是非踊って見たい！と考えていらっしゃる方は、埼玉県レクリエーション協会にご一報ください。

みんなで、「オリンピック・パラリンピック」を盛り上げましょう！

**「東京五輪音頭2020」の講習会を開催します。**

令和2年5月31日(月) スポーツ総合センター



## 高齢者レクワーカー養成セミナー

指導委員会

令和元年度の高齢者レクワーカー養成セミナーは、下記のように開催されました。  
レク支援者の集まりらしく、皆さん大変明るく楽しそうに受講されていました。

第1回講習会	9月9日(日)	午前	小倉あけみ氏	レク財をアレンジして活用しよう
		午後	高尾都茂子氏	脳トレと手ぬぐい体操
第2回講習会	10月6日(日)	午前	小池 和幸氏	健康づくりに役立つ福祉レク 理論
		午後	小池 和幸氏	健康づくりに役立つ福祉レク活動
第3回講習会	11月24日(日)	午前	小久保信幸氏	利用者の心に自信と希望の灯りをともし！ コミュニケーション&レクリエーション
		午後	富原 恒子氏	心も身体もイキイキと 身近な素材を使って！

## 教員免許状更新講習会

指導委員会

本年度も「選択領域」18時間の教員免許状更新講習会を8月7日～9日に開催し、延べ180名の幼・小・中・高の先生方が参加し、高評価を得て終了しました。

令和2年度においても、8月24日～26日、3日間開催する予定で準備を進めています。

また、教員免許状更新講習会を終了した先生を対象とした、フォローアップ講習会も計画しています。



## 学んで見ませんか!!レク式体力チェック

指導委員会

令和元年7月6日、スポーツ総合センターにて、「レク式体力チェック」の考案者、一般社団法人新潟県レクリエーション協会 渡辺耕司専務理事をお迎えし、普及指導員養成講習会を開催しました。

「レク式体力チェック」とは、いつでも・どこでも・だれもが・楽しく、簡単に「自分の体力」を把握し、みんなとコミュニケーションを図りながら、継続的に結果をチェックすることができます。また、それぞれ

の種目が日常の生活動作と一体化し体力を高める内容にもなっており、健康寿命の延伸、健康・体力づくりの日常化・生活化を目指しています。なお、当日は幼児から高齢者までの様々なチェック法を紹介していただきました。運動に親しんでいない方々にも、継続して楽しみながら体力を維持する方法を教えることができました。

